

(3) 骨材

新潟県

記事提供：(一社)新潟県砂利碎石協会

新潟県における令和2年度7月～9月期の骨材需給は、前年度同期と比較して、一部地域で災害復旧工事や火力発電所関連工事等の発注は続くものの、大型物件工事もなく、県計では、出荷量で6%減、生産量で11%減となった。

地区別に前年度同期比で見ると、上越地区では、出荷量で17%減、生産量で10%減、中越地区は、出荷量で4%減、生産量で15%減、下越地区は、出荷量で1%増、生産量で10%減、佐渡地区は、出荷量は昨年と同じ、生産量で5%減となった。

9月末の在庫量は、前年度末より2%増、前年同期比では昨年と同じとなった。

富山県

記事提供：富山県土石業協同組合連合会

富山県における令和2年7月～9月期の骨材の需給は、前年同期に比べて、県全体では出荷量は1%増、生産量は3%増と、いずれも前年度をやや上まわった。また、前期(令和2年1月～3月)比では、出荷量は10%増、生産量は11%増となった。

地区別の前年同期比では、東部地区は出荷量が2%増、生産量が15%増、西部地区においては出荷量が1%減、生産量が5%減となった。

これは、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響からの経済回復の兆しを反映し、公共事業関係を中心に民需も含め需要が堅調であったことによるものである。

9月末在庫量は、前期末(令和2年6月末)より、東部地区では1%減に、西部地区では7%減に、県全体では3%減となった。

石川県

記事提供：石川県骨材協同組合連合会

石川県における令和2年度7～9月期の骨材(県内産)の需給状況は、新型コロナウイルスの感染拡大による需要の縮小が更に深刻化しており、県計全体の出荷量は前年同期と比べて32%の大幅な減少となり、6期連続の減少となった。

7～9月期の地区別の出荷量の比較では、加賀地区は特に新幹線需要の終了の影響を大きく受けていることから、前年同期比で31%の減少となった。また能登地区は、県外からの流入材に押されていることに加え、コロナ禍の需要縮小化の影響が著しく、今期は前年同期比で87%の大幅な減少となった。

その今期の出荷量の内訳を見ると、加賀地区については、主要生産地である手取川扇状地産の陸砂利と川砂利は、主要な需要先である生コン業者向けの出荷において、大口需要の金沢地区が前年同期比で前期から一転して18%の減少となり、また新幹線需要の終了の影響を大きく受けている南加賀地区は今期も前年同期比で51%の大幅な減少となった。なおアスファルト合材業者向けの今期の出荷は、このような中、再び回復基調となり29%の増加となった。よって総じて、今期の加賀地区における手取産陸砂利と川砂利の全体の出荷は、前年同期比で31%の減少となった。

また、路盤材を主体とする加賀地区の山碎石も、新幹線需要を含む大型スポット物件向け出荷の終了の影響により今期も前年同期比で30%の減少となった。

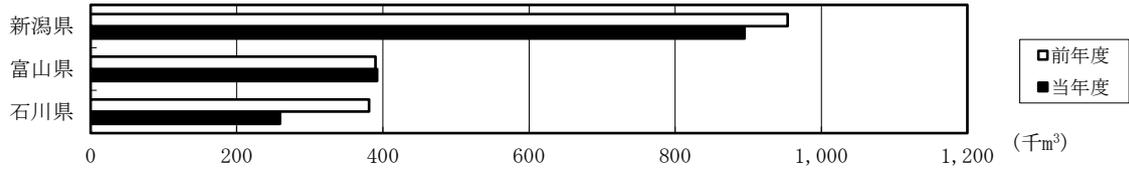
一方、能登地区(山碎石)については、前年同期比で87%の大幅な減少となった。この地区は量的にも県外からの流入材に押されて少ない上に、コロナ禍による需給の縮小化が大きく影響したと見られており、この地区の地場産業者の経営環境は、極めて厳しい状況となっている。

生産量については、加賀・能登地区共に今期も概ね出荷量に合わせた生産体制をとっており、県計では前年同期比で28%の減産となった。

在庫量は、加賀地区の在庫が、需要の急速な減少によりやや積み上がり気味にあり、県計全体の前年同期比では6%の増加となった。

上半期(R2.4～9月)の累計では、出荷量は県計で前年度上半期と比べて28%の減少となり、生産量も26%の減産となった。また在庫量は6%の増加となった。

骨材出荷量の推移（7月～9月期）



(単位：千m³、%)

県	地区	区分	令和元年度 年計	令和2年度				累計
				4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
新潟県	上越	出荷量	▲6 933	5 224	▲17 243		▲50 467	
		生産量	▲8 898	7 254	▲10 244		▲45 498	
		在庫量	▲22 122	▲16 152	▲4 153		▲4 153	
	中越	出荷量	▲7 1,022	▲2 242	▲4 288		▲48 530	
		生産量	0 1,063	▲1 252	▲15 272		▲51 524	
		在庫量	15 331	12 331	▲1 315		▲1 315	
	下越	出荷量	▲4 1,265	▲11 279	1 322		▲52 601	
		生産量	▲6 1,300	▲9 309	▲10 298		▲53 607	
		在庫量	5 787	5 816	1 793		1 793	
	佐渡	出荷量	▲29 186	▲32 32	0 42		▲60 74	
		生産量	▲26 190	▲33 32	▲5 41		▲62 73	
		在庫量	9 38	6 37	3 37		3 37	
	県計	出荷量	▲7 3,406	▲5 777	▲6 895		▲51 1,672	
		生産量	▲6 3,451	▲4 847	▲11 855		▲51 1,702	
		在庫量	4 1,278	4 1,336	0 1,298		0 1,298	
富山県	東部	出荷量	▲32 652	17 162	2 177		▲48 339	
		生産量	▲15 631	25 169	15 176		▲45 345	
		在庫量	▲75 85	▲12 91	10 90		10 90	
	西部	出荷量	3 843	5 195	▲1 215		▲51 410	
		生産量	15 851	▲3 181	▲5 212		▲54 393	
		在庫量	2 41	▲40 28	▲52 26		▲52 26	
	県計	出荷量	▲30 1,494	10 357	1 392		▲50 749	
		生産量	0 1,482	9 350	3 388		▲50 738	
		在庫量	▲73 126	▲21 119	▲15 116		▲15 116	
石川県	加賀	出荷量	▲16 1,460	▲24 298	▲31 258		▲62 556	
		生産量	▲16 1,455	▲23 306	▲27 265		▲61 571	
		在庫量	▲3 139	▲5 147	6 154		6 154	
	能登	出荷量	26 34	▲62 3	▲87 1		▲88 4	
		生産量	18 33	▲43 4	▲78 2		▲82 6	
		在庫量	▲9 10	10 11	9 12		9 12	
	県計	出荷量	▲15 1,494	▲24 301	▲32 259		▲63 560	
		生産量	▲16 1,488	▲24 310	▲28 267		▲61 577	
		在庫量	▲4 149	▲4 158	6 166		6 166	

(注)・上段は前年同期との比較

・集計は、新潟県
会 員109社のうち109社

富山県
会 員86社のうち86社
非会員 1社のうち 1社

石川県
会 員21社のうち21社 (委 託 加 工 業 者 含 む)
非会員16社のうち9社
(本データは、陸砂利・川砂利及び山砕石の数量である。)